

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	機種・型式	事業社名	事故発生 場所	被害概要					事故の内容	事故の原因	再発防止策	備考	
							死亡	重傷病	軽傷病	その他	火災					
A1K07-087	2007/12/08	2008/06/24	石油ストーブ(開放式)	RX-D18	(株)コロナ	栃木県	1					○	家屋を全焼する火災が発生し、1名が死亡した。火災原因は不明との判断であり、製品は既に廃棄済み。			
A1K07-086	2007/12/05	2008/06/24	石油ストーブ(開放式)	RX-D27W	(株)コロナ	愛知県	1					○	家屋を焼損する火災が発生し、1名が死亡した。火元と思われる場所に当該製品があったが、出火元も含め、現在、原因を調査中。			
A1K07-084	2007/11/18	2008/06/17	石油ファンヒーター	FH-554DXR	(株)コロナ	島根県						○	当該製品を使用していたところ火災が発生したため、消火した。火災原因は不明との判断であり、当該製品は既に廃棄済み。			経済産業省データは「石油温風暖房機(開放式)」と記載
A1K07-083	2007/07/28	2008/06/17	石油給湯機付ふろがま	OTQ-403SAY	(株)ノーリツ	長野県						○	シャワーを浴びていたところ、ポイラーから発煙した。	事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともにOEM製品を含む対象商品について無償改修を実施している。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K07-081	2007/12/06	2008/03/07	石油給湯機	DX-403D	長州産業(株)	宮城県						○	入浴中に爆発音がし、確認すると当該機器より火が出ていた。	事故原因は、比例弁付電磁ポンプに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である長州産業株式会社では、平成17年1月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象商品について無償改修を実施しています。	リコール品社告(2005/01/24)
A1K07-080	2007/12/06	2008/02/21	石油給湯機	AX-402A(東京ツチャ販売ブランド)	長州産業(株)	埼玉県							入浴中、爆発音がしたので外をみると当該機器より炎と黒煙が出ていた。	事故原因は、比例弁付電磁ポンプに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である長州産業株式会社では、平成17年1月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象商品について無償改修を実施しています。	リコール品社告(2005/01/24)
A1K07-079	2007/12/19	2008/02/21	石油給湯機	OQB-302Y	(株)ノーリツ	宮城県		1					当該機器を使用した後、爆発音がしたため、確認すると、当該機器周辺から煙が上がっていたので、消火作業を行った際に煙などを吸い込み喉を痛めた。	事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともにOEM製品を含む対象商品について無償改修を実施している。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K07-077	2007/12/31	2008/02/07	石油給湯機	TP-BSQ402R-DS(高木産業(株)「ハープス」ブランド)	TOTO(株)(製造:東陶エプロ(株)(解散))	沖縄県						○	当該機器が焼損しているのを発見した。	事故原因は、油電磁弁に使用されているOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。この灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	販売事業者である東陶機器株式会社(現TOTO株式会社)では、平成14年10月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象商品について無償改修を実施している。	リコール品社告(2002/10/24)

尚、このデータは暫定データのものも含まれていますので後日変更・削除される場合もありますのでご了承下さい。
 注意)人的被害概要 重症病:治療に要する期間が30日以上を負傷・疾病又は後遺障害
 軽傷病:治療に要する期間が30日未満の負傷・疾病

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	機種・型式	事業社名	事故発生 場所	被害概要					事故の内容	事故の原因	再発防止策	備考
							死亡	重傷病	軽傷病	Co中毒	火災				
A1K07-076	2007/12/21	2008/02/07	石油ふろがま	FUD-21W	長州産業(株)	長崎県					○	当該機器が燃えているのを発見し消火した。空焚きによる火災の可能性もあるが、現在、原因を調査中。			
A1K07-073	2007/12/30	2008/01/23	石油ファンヒーター	GT-E32YC	(株)コロナ	福岡県					○	当該製品周辺が火元と思われる火災が発生した。出火元を含め、現在、原因を調査中。			経済産業省データは「石油温風暖房機(開放式)」と記載
A1K07-071	2007/12/30	2008/01/21	石油ふろがま	CK-11S	(株)長府製作所	静岡県					○	浴槽に水を張っていない状態で追い焚きをしたためブレーカーが落ちたが、空焚きをしていることに気がつかず、ブレーカーを何度か入れ直しているうちに製品から発煙し、機器内部と循環パイプが焼損した。	事故原因は、点検用コネクタの外し忘れにより、空焚き防止装置が作動せず、空焚きになったものと思われる。	株式会社長府製作所は、平成19年7月27日にプレスリリース、自社ホームページへの社告を掲載するとともに、翌28日にも新聞に社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・修理を実施することとした。	リコール品社告(2007/07/28)
A1K07-069	2007/12/27	2008/01/15	石油ファンヒーター	FH-S253DX	(株)コロナ	埼玉県					○	当該製品を使用したところ、煙・炎が出て、製品及び畳を焼損した。現在、原因を調査中。			経済産業省データは「石油温風暖房機(開放式)」と記載
A1K07-068	2007/12/25	2008/01/15	石油給湯機	UIB-310TX(A)	(株)コロナ	埼玉県					○	当該機器から出火し、器具及び家屋の壁を焼損した。現在、原因を調査中。			
A1K07-067	2007/12/13	2008/01/10	石油給湯機	WBF-400C(ワカサブランド)	長州産業(株)	岡山県					○	入浴後、当該機器から異音が出たため、確認すると、当該機器周辺から火が見えた。	事故原因は、比例弁付電磁ポンプに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である長州産業株式会社では、平成17年1月24日及び平成18年12月4日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象商品について無償改修を実施しています。	リコール品社告(2005/01/24)
A1K07-066	2007/12/11	2008/01/10	石油給湯機	AX-402A(東京ツチャ販売ブランド)	長州産業(株)	茨城県					○	当該機器を使用してスイッチを切った後、火災が発生した。	事故原因は、比例弁付電磁ポンプに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である長州産業株式会社では、平成17年1月24日及び平成18年12月4日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象商品について無償改修を実施しています。	リコール品社告(2005/01/24)
A1K07-065	2007/11/25	2008/01/10	石油ファンヒーター	OK-3H1	シャープ(株)	大阪府					○	厨房に置かれた当該製品を使用中、「ボン」という音が出たため確認すると、周辺のタオル類やゴミ袋等が燃えていた。当該製品は正常に使用できることから、現在、原因を調査中。			経済産業省データは「石油温風暖房機(開放式)」と記載
A1K07-064	2007/12/16	2008/01/10	石油ストーブ(開放式)	HSR-240L	シャープ(株)	埼玉県					○	当該製品付近から出火する火災が発生した。現在、原因を調査中。			
A1K07-063	2007/12/24	2008/01/09	石油ファンヒーター	FH-253GT	(株)コロナ	福岡県					○	当該製品の点火スイッチを入れると、白煙が出てきたため中を見ると火が見えたため消火した。現在、原因を調査中。			経済産業省データは「石油温風暖房機(開放式)」と記載

尚、このデータは暫定データのものも含まれていますので後日変更・削除される場合もありますのでご了承下さい。
 注意) 人的被害概要 重症病: 治療に要する期間が30日以上(負傷・疾病又は後遺障害)
 軽傷病: 治療に要する期間が30日未満(負傷・疾病)

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	機種・型式	事業社名	事故発生場所	被害概要					事故の内容	事故の原因	再発防止策	備考
							死亡	重症病	軽傷病	Co中傷	火災				
A1K07-062	2007/12/19	2008/01/09	石油給湯機	UIB-310TX2	(株)コロナ	山口県					○	当該機器を使用後、しばらくすると、音がして炎が出た。現在、原因を調査中。			
A1K07-061	2007/12/20	2008/01/09	石油ストーブ(開放式)	SX-C260Y	(株)コロナ	京都府			1			給油時に当該製品を消火しないで油タンクに給油後、油タンクを戻す時に蓋から灯油が漏れ、火災に至った。事故原因は、当該製品を消火しないで給油を行うという誤使用の可能性もあるが、現在、原因を調査中。			
A1K07-060	2007/12/19	2008/01/09	石油ストーブ(開放式)	SX-E28Y	(株)コロナ	和歌山県			3		○	給油時に当該製品を消火しないで油タンクに給油後、油タンクを戻す時に蓋から灯油が漏れ、火災に至った。事故原因は、当該製品を消火しないで給油を行うという誤使用の可能性もあるが、現在、原因を調査中。			
A1K07-058	2007/12/25	2008/01/09	石油ストーブ(開放式)	R-33	(株)トヨミ	香川県			1		○	当該製品を使用中、炎が大きくなって燃えているのを発見した。消火の際、軽い火傷を負った。現在、原因を調査中。			
A1K07-056	2007/11/25	2008/01/07	石油給湯機付ふろがま	UKB-3100AX(AD)7	(株)コロナ	福島県					○	家人が当該機器から発煙しているのを発見した。機器内部が焼損し、建物の壁が煤けた。現在、原因を調査中。			
A1K07-055	2007/12/08	2007/12/27	石油小型給湯機	BS-3100G(S)(3N)	(株)トヨミ	長崎県		2			○	当該機器付近より出火する火災が発生した。現在、原因を調査中。			
A1K07-054	2007/12/12	2007/12/25	石油給湯機	OQB-405FF	(株)ノーリツ	北海道					○	製品を使用していたところ、振動しているような燃焼音がしたため、確認すると排気部が赤くなっていたので消火した。	事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日及び平成18年12月4日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象商品について無償改修を実施しています。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K07-053	2007/12/08	2007/12/25	石油給湯機付ふろがま	UKB-3300TXA	(株)コロナ	神奈川県					○	家人が風呂を沸かすため点火した後、しばらく経って給湯機から煙が出ているのに気がつき、消火器で消火しようとした時、「ボン」という爆発音がして、炎があがった。現在、原因を調査中。			
A1K07-052	2007/12/01	2007/12/25	石油ふろがま	BS-2010GSD	(株)コロナ	新潟県					○	入浴して就寝後、異音に気がつき確認すると、浴室付近から出火していた。現在、原因を調査中。			

尚、このデータは暫定データのものも含まれていますので後日変更・削除される場合もありますのでご了承下さい。
 注意)人的被害概要 重症病:治療に要する期間が30日以上の負傷・疾病又は後遺障害
 軽傷病:治療に要する期間が30日未満の負傷・疾病

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	機種・型式	事業社名	事故発生 場所	被害概要					事故の内容	事故の原因	再発防止策	備考
							死亡	重傷病	軽傷病	その他	火災				
A1K07-050	2007/12/01	2007/12/14	油だき温水ボイラー	不明	(株)長府製作所	栃木県			2		○	当該機器を使用後、しばらくすると火災が発生していた。ボイラ小屋兼用物置屋根などが焼損し、消火の際に2名が軽い火傷を負った。現在、原因を調査中。			
A1K07-049	2007/12/11	2007/12/14	石油給湯機付ふろがま	OTQ-302SAY	(株)ノーリツ	福岡県					○	当該機器を使用していると、外で「ボン」と音がしたため、確認すると、当該機器から発煙していた。	事故原因は、制御弁セットに使用されているリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。この灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日及び平成18年12月4日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象商品について無償改修を実施しています。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K07-048	2007/12/07	2007/12/14	石油給湯機付ふろがま	OTQ-302SAY	(株)ノーリツ	愛知県					○	当該機器を使用後、しばらくすると、「ボン」という音がしたので、外に出ると、発煙していた。	事故原因は、制御弁セットに使用されているリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。この灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日及び平成18年12月4日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象商品について無償改修を実施しています。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K07-046	2007/11/24	2007/12/10	油だき温水ボイラー	FF-500U	(株)コロナ	長野県			1		○	5時間後に点火するためタイマーをセットし就寝したところ、翌朝パチパチと音がしてボイラー室内で火災が発生していた。現在、原因を調査中。			
A1K07-045	2007/11/27	2007/12/05	石油給湯機付ふろがま	OTQ-305SAY	(株)ノーリツ	茨城県					○	当該機器を使用したところ音がし、当該機器排気口から煙がでていたのを発見して消火した。	事故原因は、制御弁セットに使用されているリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。この灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日及び平成18年12月4日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象商品について無償改修を実施しています。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K07-043	2007/11/23	2007/12/03	石油給湯機付ふろがま	OTQ-302SAY	(株)ノーリツ	石川県					○	給湯機を使用後、機器の焼損に気付き消火した。	事故原因は、制御弁セットに使用されているリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。この灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日及び平成18年12月4日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象商品について無償改修を実施しています。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K07-042	2007/11/22	2007/12/03	石油給湯機	OQB-302Y	(株)ノーリツ	広島県					○	給湯使用中にプレーカが作動したため確認したところ、給湯機から発煙しており、機器内部を焼損した。	事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日及び平成18年12月4日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象商品について無償改修を実施しています。	リコール品社告(2002/10/24)

尚、このデータは暫定データのものも含まれていますので後日変更・削除される場合もありますのでご了承下さい。
 注意) 人的被害概要 重症病: 治療に要する期間が30日以上の負傷・疾病又は後遺障害
 軽傷病: 治療に要する期間が30日未満の負傷・疾病

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	機種・型式	事業社名	事故発生 場所	被害概要					事故の内容	事故の原因	再発防止策	備考
							死亡	重傷病	軽傷病	その他	火災				
A1K07-041	2007/11/19	2007/10/28	石油給湯機	OQB-302Y	(株)ノーリツ	茨城県					○	当該製品を使用中に煙が上がっているのに気づき、消火した。	事故の原因は、制御弁セットに使用されているOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。この灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日及び平成18年12月4日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象商品について無償改修を実施しています。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K07-040	2007/11/18	2007/10/28	石油給湯機	OQB-405F	(株)ノーリツ	愛知県					○	ボイラー室からの煙で当該製品の焼損に気付いた。この火災で、ボイラー室の内壁と扉が一部焼損した。	事故の原因は、制御弁セットに使用されているOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。この灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日及び平成18年12月4日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象商品について無償改修を実施しています。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K07-039	2007/11/06	2007/11/28	石油ストーブ	RX-D27W	(株)コロナ	埼玉県					○	当該製品付近が火元と思われる火災が発生した。出火当時、ストーブの火は消してあったことから、出火元も含め、現在、原因を調査中。			
A1K07-037	2007/10/22	2007/11/26	石油ふろがま	CK-12JT	(株)長府製作所	東京都					○	ふろがまのスイッチを入れた際に建物外周部に設置されている当該機器から煙が出て、機器本体を焼損した。現在、原因を調査中。			
A1K07-036	2007/11/08	2007/11/21	石油給湯機	RPH32KE	TOTO(株)(製造:東陶エプロ(株)(解散))	長野県					○	台所でお湯を使用中に外で音がしたため、当該機器を見てみると煙突から黒煙が発生し、器具が焼損していた。	事故原因は、油電磁弁に使用されているOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。この灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	販売事業者である東陶機器株式会社(現TOTO(株))では、平成14年10月24日及び平成18年12月4日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象製品について無償改修を実施しています。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K07-035	2007/11/04	2007/11/21	石油ストーブ	SX-24	(株)コロナ	北海道			2		○	当該製品が置いてあった部屋が火元と思われる火災が発生し、2名が軽い火傷を負った。出火元も含め、現在、原因を調査中。			
A1K07-034	2007/11/03	2007/11/21	石油ストーブ	R-33	(株)トヨミ	三重県			1		○	当該製品の天板の上に鍋をのせ、ストーブを点火した。しばらくすると、当該製品の下部から炎が上がっていた。現在、原因を調査中。			

尚、このデータは暫定データのものも含まれていますので後日変更・削除される場合もありますのでご了承下さい。
 注意)人的被害概要 重症病:治療に要する期間が30日以上の負傷・疾病又は後遺障害
 軽傷病:治療に要する期間が30日未満の負傷・疾病

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	機種・型式	事業社名	事故発生 場所	被害概要					事故の内容	事故の原因	再発防止策	備考
							死亡	重症病	軽傷病	その他	火災				
A1K07-033	2007/11/04	2007/11/16	石油ストーブ(密閉式)	BH-3521G	(株)長府製作所	長野県	1		1		○	当該製品が設置している部屋が火元とみられる火災が発生し、家人1名が死亡し、1名が火傷を負った。出火当時、当該製品を運転していたかは不明であり、出火元も含め、現在、原因を調査中。			
A1K07-032	2007/11/03	2007/11/16	石油ファンヒーター	FH-554DXR	(株)コロナ	長野県					○	当該製品から出火し、畳や壁を焼損した。現在、原因を調査中。			経済産業省データは「石油温風暖房機(開放式)」と記載
A1K07-031	2007/10/30	2007/11/09	石油給湯機	RPH40KF	TOTO(株)(製造:東陶ユプロ(株)(解散))	北海道					○	給湯機の使用を停止した後も、器具内部に漏れて溜まっていた灯油が燃え続けたため、機器内部を焼損した。	事故原因は、油電磁弁に使用されているリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。この灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	販売事業者である東陶機器株式会社(現TOTO(株))では、平成14年10月24日及び平成18年12月4日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象製品について無償改修を実施しています。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K07-030	2007/10/26	2007/11/09	石油給湯機	RPH32KE	TOTO(株)(製造:東陶ユプロ(株)(解散))	秋田県					○	室内の照明が消えたため、給湯機本体を確認すると内部が焼損していた。	事故原因は、油電磁弁に使用されているリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。この灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	販売事業者である東陶機器株式会社(現TOTO(株))では、平成14年10月24日及び平成18年12月4日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象製品について無償改修を実施しています。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K07-029	2007/10/11	2007/10/30	石油ふろがま(薪兼用)	不明	(株)長府製作所	山口県					○	当該機器付近から出火する火災が発生。出火元も含め、現在、原因を調査中。			
A1K07-028	2007/08/26	2007/10/29	石油ふろがま(薪兼用)	BS-A30GM	(株)コロナ	北海道					○	浴室に設置されている当該機器付近から出火する火災があった。	事故原因は、当該機器の電源コードが経年劣化により短絡し、漏れていた灯油に引火したと思われる。		
A1K07-027	2007/10/21	2007/10/29	石油給湯機	OQB-302Y	(株)ノーリツ	大分県					○	当該機器から煙が上がっているのを発見し消火した。機器内部を焼損した。	事故の原因は、制御弁セットに使用されているリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。この灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日及び平成18年12月4日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象商品について無償改修を実施しています。	リコール品社告(2002/10/24)

尚、このデータは暫定データのものも含まれていますので後日変更・削除される場合もありますのでご了承下さい。
 注意)人的被害概要 重症病:治療に要する期間が30日以上(の)負傷・疾病又は後遺障害
 軽傷病:治療に要する期間が30日未満(の)負傷・疾病

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	機種・型式	事業社名	事故発生 場所	被害概要					事故の内容	事故の原因	再発防止策	備考
							死亡	重傷病	軽傷病	その他	火災				
A1K07-026	2007/10/21	2007/10/29	石油給湯機付ふろがま	OTQ-302SAY	(株)ノーリツ	福島県					○	洗面所でお湯を使用していると当該機器から煙が上がったため消火した。機器内部を焼損した。	事故の原因は、制御弁セットに使用されているリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。この灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日及び平成18年12月4日に新聞社を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象商品について無償改修を実施しています。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K07-025	2007/10/15	2007/10/29	石油給湯機	RPH32KE	TOTO(株)(製造:東陶ユブロ(株)(解散))	山形県					○	小屋から音がした後にブレーカーが作動した。給湯機を見てみると器具が焼損していた。	事故原因は、油電磁弁に使用されているリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。この灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	販売事業者である東陶機器株式会社(現TOTO(株))では、平成14年10月24日及び平成18年12月4日に新聞社を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象製品について無償改修を実施しています。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K07-024	2007/10/11	2007/10/29	石油給湯機	OQB-305Y	(株)ノーリツ	東京都					○	浴槽を掃除した後に給湯をしていたところ窓の外が明るくなった。確認すると器具内部が焼損していた。	事故の原因は、制御弁セットに使用されているリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。この灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日及び平成18年12月4日に新聞社を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象商品について無償改修を実施しています。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K07-023	2007/10/10	2007/10/24	石油給湯機	OTQ-302SAY	(株)ノーリツ	愛知県					○	当該機器から発煙しているのを発見し、機器内部を焼損した。	事故原因は、部品のリングが硬化・収縮したことにより灯油が漏れ、燃焼室内に流入し引火、機器内部が焼損したことによる発煙と思われる。	当該製品については、製造事業者である株式会社ノーリツが既にリコールを実施(平成14年10月24日に新聞社を掲載※平成18年12月4日にも再社告)し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償改修実施している。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K07-022	2007/10/07	2007/10/19	石油給湯機	OQB-302Y	(株)ノーリツ	茨城県					○	当該機器から発煙し、機器内部が焼損した。リコール対象品であり、電磁弁から漏れた油に引火したためと思われるが、現在、原因を調査中。	事故原因は、部品のリングが硬化・収縮したことにより灯油が漏れ、燃焼室内に流入し引火、機器焼損に至ったものと思われる。	当該製品については、製造事業者である株式会社ノーリツが既にリコールを実施(平成14年10月24日に新聞社を掲載※平成18年12月4日にも再社告)し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償改修実施している。	リコール品社告(2002/10/24)

尚、このデータは暫定データのものも含まれていますので後日変更・削除される場合もありますのでご了承下さい。
 注意)人的被害概要 重症病:治療に要する期間が30日以上の負傷・疾病又は後遺障害
 軽傷病:治療に要する期間が30日未満の負傷・疾病

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	機種・型式	事業社名	事故発生場所	被害概要					事故の内容	事故の原因	再発防止策	備考
							死亡	重症病	軽傷病	Co中毒	火災				
A1K07-021	2007/10/04	2007/10/17	石油給湯機	OQB-302YS	(株)ノーリツ	京都府					○	給湯使用中の当該機器から発煙した。	事故原因は、部品のOリングが硬化・収縮したことにより灯油が漏れ、燃焼室内に流入し引火、機器焼損に至ったものと思われる。	当該製品については、製造事業者である株式会社ノーリツが既にリコールを実施(平成14年10月24日に新聞社告を掲載※平成18年12月4日にも再社告)し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償改修実施している。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K07-020	2007/10/01	2007/10/12	石油給湯機	RPH32KF	TOTO(株)(製造:東陶ユプロ(株)(解散))	北海道					○	黒煙が見えたため、確認すると当該機器から発煙していた。	事故原因は、油電磁弁に使用されているOリング(パッキン)が硬化、収縮し、油漏れが発生し、排気室内に留まった油に引火したと考えられる。	販売事業者である東陶機器株式会社(現TOTO株式会社)が平成14年10月24日に新聞社告を行い改修を開始、さらに平成18年12月4日にも再社告を出すなど、改修作業を進めています。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K07-019	2007/09/18	2007/10/10	石油給湯機	OQB-405Y	(株)ノーリツ	兵庫県					○	当該機器を使用後、当該機器の排気口から煙が出ているのを発見した。	事故原因は、部品のOリングが硬化・収縮したことにより灯油が漏れ、燃焼室内に流入し引火、機器焼損に至ったものと思われる。	当該製品については、製造事業者である株式会社ノーリツが既にリコールを実施(平成14年10月24日に新聞社告を掲載※平成18年12月4日にも再社告)し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償改修実施している。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K07-018	2007/09/20	2007/10/09	石油給湯機付ふろがま	JIB-7SAG	(株)長府製作所	栃木県					○	入浴中、警報が鳴ったので小屋の中に設置した当該製品を確認すると、小屋の中は煙が充満していたため、煙を排出し器具を確認した。更に30分後、プレーカーが落ちたので、再度、様子を見に行くと、給水、出湯配管に巻いてある凍結予防ヒーター及び保温材が燃えており、浴室の壁、天井の一部及び当該機器内部を焼損した。現在、原因を調査中。			
A1K07-017	2007/09/07	2007/09/26	石油ふろがま	JPK-N	(株)長府製作所	山梨県					○	空焚きにより、壁を焦がし、浴槽の一部を損傷した。	事故原因は、点検用コネクターの外し忘れにより、空焚き防止装置が作動せず、空焚きになったものと思われる。	株式会社長府製作所は、平成19年7月27日にプレスリリース、自社ホームページへの社告を掲載するとともに、翌28日にも新聞に社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・修理を実施することとした。	リコール品社告(2007/07/28)

尚、このデータは暫定データのものも含まれていますので後日変更・削除される場合もありますのでご了承下さい。
 注意)人的被害概要 重症病:治療に要する期間が30日以上を負傷・疾病又は後遺障害
 軽傷病:治療に要する期間が30日未満の負傷・疾病

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	機種・型式	事業社名	事故発生 場所	被害概要					事故の内容	事故の原因	再発防止策	備考
							死亡	重傷病	軽傷病	その他	火災				
A1K07-016	2007/08/03	2007/08/15	石油給湯機付ふろがま	JIB-7SAG	(株)長府製作所	福岡県					○	浴槽に水を入れずに追い炊きのスイッチを入れ、15分ほどで焦げた臭いに気付き運転を止めた。機器本体内部を焼損、循環パイプを焼損し、浴槽が焦げた。	事故原因は、点検用コネクタの戻し忘れにより空焚き防止装置が作動せず、空焚きになったものと思われる。	株式会社長府製作所は、平成19年7月27日にプレスリリース、自社ホームページへの社告を掲載するとともに、翌28日にも新聞に社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・修理を実施することとした。	リコール品社告(2007/07/28)
A1K07-015	2007/07/28	2007/08/14	石油給湯機付ふろがま	JIB-7SG	(株)長府製作所	岩手県					○	当該機器から出火し、機器周辺の壁を一部焼損した。現在、原因を調査中。			
A1K07-014	2007/07/23	2007/08/08	石油給湯機	UIB-LD30X	(株)コロナ	宮城県					○	異臭とボンと音がした為、ボイラー室を開けたところ当該機器の下から炎が出ていた。当該機器内部の焼損状態から製品内部からの発火によるものであるが、詳細な原因については現在、調査中。			
A1K07-013	2007/05/24	2007/08/03	石油ふろがま	CK-5	(株)長府製作所	宮城県					○	燃料タンクと機器本体を結ぶ油配管から灯油が漏洩し、何らかの原因により引火、機器本体と油配管を焼損した。現在、原因を調査中。			
A1K07-012	2007/06/28	2007/07/11	石油ふろがま	CK-5	(株)長府製作所	栃木県					○	ふろがまの追い焚き中に器具より煙が出ているのを近所の人が発見。なお、原因については、当該機は25年以上の長期使用による経年劣化で燃焼室の気密性が低下していたため排気漏れをおこし、電線類に引火して焼損するに至ったと推測されるが、引き続き調査中。			
A1K07-011	2007/06/27	2007/07/11	石油給湯機付ふろがま	OTQ-302SAYS	(株)ノーリツ	千葉県					○	家人が入浴しようとしたところ窓の外が明るく感じたので外に出たところ、当該機器の内部が焼損し煙が出ていた	事故原因は、制御弁セット内のOリングが硬化、収縮し、漏れた灯油が燃焼室に流入し、引火したと考えられる。	当該製品については、製造事業者である株式会社ノーリツが既にコールを実施(平成14年10月24日に新聞社告を掲載※平成18年12月4日にも再社告)し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償改修実施している。	リコール品
A1K07-009	2007/06/13	2007/07/04	石油ファンヒーター	GT-A30Y	(株)コロナ	長野県					○	近隣住民が火元建物からの黒煙を確認。出火元は、ファンヒーターがある1階縁側付近と推定される。家人によれば家屋の暖房と洗濯物の乾きを良くするために点火したとのことで、ファンヒーターの周りに洗濯物が多くあった模様。なお、火災発生時には家人は機器から離れていた。現在、原因を調査中。			

尚、このデータは暫定データのものも含まれていますので後日変更・削除される場合もありますのでご了承下さい。
 注意)人的被害概要 重症病:治療に要する期間が30日以上を負傷・疾病又は後遺障害
 軽傷病:治療に要する期間が30日未満の負傷・疾病

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	機種・型式	事業社名	事故発生場所	被害概要					事故の内容	事故の原因	再発防止策	備考
							死亡	重傷病	軽傷病	Co中傷	火災				
A1K07-008	2007/06/05	2007/06/18	石油給湯機	IB-426DS	(株)長府製作所	滋賀県					○	機器の使用中に大きな音がして出火した。機器本体及びボイラ室内壁板の一部を焼損した。			
A1K07-007	2007/06/02	2007/06/18	石油給湯機付ふろがま	JIB-7SAG	(株)長府製作所	秋田県					○	シャワーを使用後、自動スイッチを入れた。少ししてプレーカーが落ち、ボイラから煙が出て、器具及び浴槽の循環口周辺を焼損した。	事故原因は、空焚き防止装置に点検・修理の際に使用される点検用コネクタが取り付けられたままになっていたため、何らかの要因により追い焚きスイッチが押された際、空焚き防止装置が働かなかったためと考えられる。	株式会社長府製作所は、平成19年7月27日にプレスリリース、自社ホームページへの社告を掲載するとともに、翌28日にも新聞に社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・修理を実施することとした。	リコール品社告(2007/07/28)
A1K07-006	2007/05/27	2007/05/25	石油給湯機	RPH32KSS	TOTO(株)(製造:東陶ユプロ(株)(解散))	鹿児島県					○	給湯機を使用中に外で大きな音がしたため、給湯機を見てみると機具が焼損していた。	事故原因は、油電磁弁のOリング(パッキン)が劣化により硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。この漏れた灯油に引火し、器具が焼損したと見られます。	販売元である東陶機器株式会社(現TOTO株式会社)が平成14年10月24日に新聞社告を行い改修を開始、さらに平成18年12月4日にも再社告を出すなど、改修作業を進めています。	リコール品
A1K07-005	2007/05/25	2007/05/25	石油ストーブ(開放式)	SX-24	(株)コロナ	北海道					○	石油ストーブをつけてから1時間半位たった時、ユーザが手でストーブを押して移動した際ストーブの下の方から炎が出て、火災に至った。			
A1K07-004	2007/05/17	2007/06/05	石油ストーブ(密閉式)	ゼータス FF-70RG	サンデン(株)	北海道					○	ストーブを点けたまま15分位外出して帰宅したところ、ストーブ付近から出火していた。			
A1K07-003	2007/05/21	2007/06/01	石油ふろがま(給湯器付)	HO-450H(日立化成工業プラント)	(株)ノーリツ	岐阜県					○	家人が石油ボイラー(当該ふろがま)から出火しているのを発見し、消防に通報。網戸、周囲のトタン、配管保温材の一部を焼損した。	事故原因は、制御弁セット内のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、漏れた灯油が燃焼室に流入し、排気トップから溢れた炎で周辺物に着火したと考えられる。	当該製品については、平成14年10月24日に新聞社告を行い改修を開始、さらに平成18年12月4日にも再社告を出すなど、改修作業を進めています。	リコール品
A1K07-001	2007/05/09	2007/05/28	石油ふろがま	BM-7	(株)長府製作所	青森県					○	何らかの形で空焚きになり、浴室から出火し、浴室、脱衣所など、家屋の一部を焼損。現在、原因を調査中。			

注:

- ・A1K07-002⇒B1へ移行(07.09.11)
- ・A1K07-047⇒B1へ移行(08.03.17)
- ・A1K07-010⇒B1へ移行(08.04.21)
- ・A1K07-051⇒B1へ移行(08.07.03)
- ・A1K07-044/A1K07-057/A1K07-059/A1K07-082⇒B1へ移行(08.10.06)
- ・A1K07-070⇒B1へ移行(09.06.12)
- ・A1K07-075⇒B1へ移行(09.08.06)
- ・A1K07-038/A1K07-72/A1K07-78⇒B1へ移行(09.08.11)
- ・過去4年間の経済産業省 製品事故判定第三者委員会の調査結果等を反映した。また、これに合わせ重複データのチェックを行った(10.11.05)
- ・A1K07-074⇒B1へ移行(10.11.05)
- ・A1K07-085・第三者委員会の判定(11/01/25)に基づきB1等へ移動(12/04/18)。